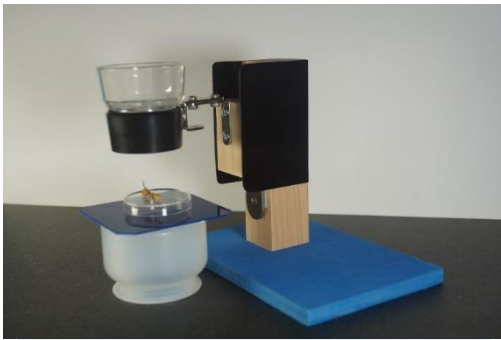


<簡易ルーペ顕微鏡写真の報告： 令和5年 3月25日>

三谷助成金事業の「雪の結晶観察」を終え、実家のある安芸高田市に戻って来ました。雪の結晶観察で使用した“簡易ルーペ顕微鏡”はそのまま草花や虫などの顕微鏡観察に用いることができますが、少し修正を加えて、“植物・昆虫観察専用の簡易ルーペ顕微鏡”を作りました。この場合、ルーペの倍率は3倍のもので十分であり、100円ショップで購入できます。つまり装置が非常に安価に作れます。試みに、季節の花、“仏の座”の花弁や小さな虫の写真を撮影しました。スマホ台に置いた i-Pad で数倍に拡大して撮影しています。虫は捕獲した後、二酸化炭素のガスが入った容器に入れ仮死状態（1時間後には動き出す）にしています。最後の写真は、理科教材会社が販売している植物プレパラートを使って撮影しました。



3倍ルーペを用いる顕微鏡
(15倍ルーペにも交換可能)



タブレット台に i-Pad を置き撮影
(試料はモミ)



春の草（仏の座）の花弁



全長3mm程度の虫
名前は？



試料台を傾け、右上の虫
の頭付近を撮影



全長 3 mm 程度の
てんとう虫



市販の植物プレパラート
(ムクゲの茎の断面)

< 1.5 倍ルーペ (1800 円) に交換した場合 >



拡大なし (仏の座の花弁)



i-Pad で約 4 倍に拡大



市販の植物プレパラート
(ムクゲの茎の断面)